

小野 小野市敷地町のコミュニティセンター（コミセン）おおべの近くで、祠のような場所を見つけた。「ハメ塚」と書かれている。なんとも奇妙な名前だ。「ハメ」とはいったい、なんだ

ろう？ 市内の民話や伝承をまとめた冊子や、専門家への取材を行った。すると、ある「陰陽師」の存在と、マムシを恐れる農民たちの切実な思いが見えてきた。
(杉山雅崇)

数百年前 マムシ大量漂着、塚作り封じ込め

田園地帯で自立つハメ塚周辺の雑木が600年以上の歴史があるとされる「ハメ塚」。マムシを恐れる農民たちの思いがしのばれる。いずれも小野市中島町



ハメ塚は、同市中部の中島町にある。家屋や商店が点在する田園地帯の中に直徑8m、高さ10mの塚があり、周囲には雑木が生い

安全願う農民の思い反映した伝承

あらためてハメ塚に取材に訪れた。周囲は掃き清められており、塚の入り口のきれいなゴップには、水が供えられていた。時代は変わっても、農作業と集落の無事を祈る住民たちの心は、変わっていない。

「ハメ塚」って何？

「コミセンおおべ近くの雑木林に鎮座

話を記した「ふるさと伝え語り」によると、塚の由来は数百年前までさかのぼるとされる。室町時代のある夏、中島町の周囲を洪水が襲った。この大水で大量のマムシが流れ着き、村人をつかんで殺していた。マムシのことを、北播磨地域の郷土史に詳しい市立好古

館（同市西本町）の石野茂三館長によると、「ハメ塚」は中島町以外にも点在しているという。石野館長は「昔はマムシ（ハメ）にかまれても治療法はなかったはず。マムシがいながらも農作業をせざるを得なかった農民たちの切実な思いが分かる」と分析している。

名前【 】

① 「ハメ」とは北播磨地域の古い方言で何を表していますか。

② 小野市の昔話を記した「ふるさと伝え語り」による塚の由来について答えましょう。

ア 何時代のことですか

イ 「ハメ」に困った村人は、陰陽師「安倍晴休」を呼びましたが、陰陽師とは何をしますか？

③ 「ハメ塚」から農民たちのどんな思いが分かりますか。

④ 自分の近くの伝承や史跡について調べてみよう。